



ご挨拶

まだ寒さの中にありますが、季節は確実に早春の3月を迎えようとしています。この時期は、年度末となりますので、令和元年度を振り返る決算の時期です。法人よつばでも、これから決算や事業報告の見通しを踏まえて、新年度の事業計画と予算案の検討に入ります。合わせて、これから3年間の中期計画も審議する予定です。柏市や隣接する市には、障害者のための福祉サービスを利用できず、ご本人や家族で困っておられる方や不安の中におられる方がおられますので、その方たちと出会うように、宣伝や啓発活動に励みたいと思います。ご本人やご家族の相談は、是非「法人よつば」をご活用ください。問い合わせ先は、上記にあります。

☆就労継続支援A型「かるのこ」

私たちの職場は、「かるのこ」という障害者の方の社会復帰を応援する事業所です。スタッフ、障害者ともに協力して、お客様に喜ばれる「お弁当づくり」に毎日奮闘しています。1日160食ほどを、11時までに作り上げるため、午前中は大忙しです。お弁当を12時までにお客様に届ける必要があり、午前中はほとんど立ち仕事になります。

私たちの職場「かるのこ」は、近隣のお弁当屋さんとの競争にさらされていますが、かるのこ弁当の特色は、高級な弁当箱の使用により、公の会議や接待用にも使用していただいています。予約販売制をとっており、普段は主に行政や福祉関係の顧客が中心です。生き残りをかけてメニューの工夫はもちろん、女性用には「小盛り」、男性用にはボリュームたっぷりの「大盛り・特盛り」、また好評の「かるのこカレー」もラインナップし注文に応じています。

働いている障害者「従業員」は、基本的に1日4時間、週3日以上勤務できる方を求めています。まず体験をしていただき、食品を扱う職場に適合できる方を採用します。試用期間を経て、時給923円(現在)で、雇用契約を結びます。また評価による昇給もあります。

お客様からの「おいしかったですよ」の聲が、私たちのお弁当作りの意欲を高めてくれます。障害を持ちつつも、やりがいを持った仕事を希望される方は、是非ご相談ください。

かるのこには、**現在定員の空きがあります。**見学や体験利用などの問い合わせは、04-7199-7930までお願いします。

☆体験談・流山市在住 インタビューCさん



① 発症した頃のこと

今振り返ると、発症したのは中学生の初めごろだと思います。そのころからいじめを受けていました。なかなか友達の輪に入れず、緊張しながら学校に通っていました。もちろん家族には、心配をかけたくなかったので、相談しませんでした。時々体調が悪いこともあって、休みながらなんとか中学を卒業しました。しかし、高校受験に失敗したことから、家庭内暴力を振るうようになり、精神科病院に診察を受けて、服薬が始まりました。ところが薬が合わず、何度も勝手に断薬をして、入院もしました。

② やっと見つけた居場所と友だち

病院のデイケアは自分には、馴染めませんでした。そんな時、自助グループがあると聞いて、暇でしたので出かけるようになりました。家族は喜んでいました。家族も病院で紹介された家族会に出かけるようになり、家族ともめなくなったのは、私が30歳を過ぎたころです。仕事をしようとしたのですが、2~3か月で駄目になりました。ストレスがたまり人間関係で続けられませんでした。しかし、自助グループで知り合った友達は今でも続き、時々東京まで、遊びに行きます。気分が良いときは、家の手伝いで買い物などはやれますが、仕事だけはうまくいきません。でもそれで良いと思えるようになりました。家族も無理をするなど言ってくれます。

③ 以前のことを振り返って思うこと

10代のころは、死にたいと思ったことが何度もありましたし、実際試みたこともあります。それでも死なずに済んでよかったと思います。もっ

と早く自分の病気のことについて、家族にも相談できればよかったと思います。そうすれば高校にも行けたでしょうし、ひょっとしたら一般のの仕事もできたかもしれません。結婚にあこがれた時期もありましたが、周りからは結婚は大変だと聞いていますし、離婚した人も知っています。みんな大変なんだと聞きました。

④ 今の心境

今は、以前に比べれば、穏やかです。時々調子が悪くなりますが、入院はしていません。両親が年を取っていますので、心配をかけないで過ごせるようにしたいです。両親が亡くなった後のことは、まだ決まっていません。それが今の悩みです。



☆家族の想い・柏市のCさん

①家族会との出会いは・・・

娘が発症してから5年目、再発の兆しがあって、親せきや兄弟にも近所にもひた隠しの生活という閉塞感の中で、「近所にふれあいホームが出来るといい」「親が集まる場所がいい」と聞き、心配しながら見学させていただきました。想像に反して、皆さんが明るく、穏やかに、真剣に話を聞いてくださいました。重いつかえがサッと取れた気分でした。何とも言えない安ど感がありました。

②発病したときの戸惑いと心配

娘が中学生の時、仲良し友達との間でトラブルが発生し、クラスの中で浮いた状態になりました。高校受験を控えながら勉強に身が入らず、昼夜逆転にもなり、それでも何とか高校には入ったものの、続けられず専門学校に行くと言い始めました。その間、自分なりに頑張ってくれていた様子でしたので、柏市に転居を決めました。それが引き金になったのか、20歳の時に再発しました。最初は慈恵大学に入院、続いて初石病院に転院しましたが、その後入退院を繰り返しました。平成30年に、5度目の入院をし、薬の見直し、健康管理を自分でする、などを試していますが、まだどこにも出られずに自宅で過ごしています。

③心配する親とすれ違う本人

本人は40歳代で、親は後期高齢者。娘の兄は、独立して暮らしています。家族会との出会いによって、多くのことを学んでいます。目下最大の関心は、親亡き後のことです。親が元気なうちに、グループホームで暮らせたらと思いますが、身の自立が出来ていません。親亡き後は、一人で暮ら

すことになっても、頼れる人がいません。すべて親がかりの状態、本人は困っていない様子です。せめて、薬の管理、身の回りの整理、お金の管理、外出などが身につくように頑張っています。

④ 薬の変更と現状と願い

5度目の入院をきっかけに、薬の見直しが行われました。以前は、従来の向精神薬から第二世代の精神薬になっていたのですが、ハロペリドールを用いるようになりました。あとは2種類の眠剤です。入院中に生活訓練も行って退院しましたが、なかなか外出にはつながっていません。あとは、外に出て、社会資源の福祉サービスを使い、自分の生活を築いてほしいと願うばかりです。

☆法人よつばの各事業イベント紹介

<就労継続B型・青い鳥の予定>

① イベント販売

- ・3月28日土曜 10時から 15時まで
- ・流山市文化会館にて
- ・焼き鳥と焼きそばの販売

どうぞお出かけください。

☆精神障害者家族会よつば会 定例会の紹介

(問い合わせ 04-7199-3645)

<柏部会>

- ・3月28日土曜 12時45分から
- ・パレット柏 ミーティングルームA

<我孫子部会>

- ・3月16日月曜 午後1時から
- ・湖北駅南口の「お休み処」にて

<流山部会>

- ・3月27日金曜 10時から
- ・初石公民館・講義室にて

なお、発達障害者の家族会「ひまわりの会」

も開かれています。関心のある方はお問い合わせください。

- ・3月14日 第二土曜 10時から
- ・江戸川台駅東口、江戸川台合同教会にて
- ・問い合わせ 大山 090-7226-4486
三尾谷 090-3426-1813

